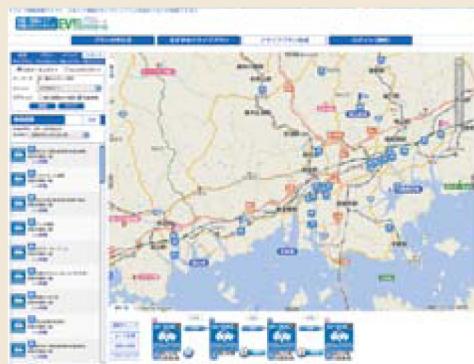


岡山県電気自動車充電器設置ビジョン

今後のEVの普及拡大と移動の際のセーフティネット機能の強化に向けて、交通量の多い国道、主要地方道の沿線を中心に、市町村庁舎周辺、主要観光地などに総数586カ所の充電インフラを整備する。

中国・四国と近畿圏を結ぶ結節点として 広域的かつ円滑なEV移動の実現を目指す



急速充電スポットと観光スポットの距離を知ることができるドライブ情報サイト「びあはーる」へは、県庁ホームページのリンクからアクセスできる。県庁担当課HP (<http://www.pref.okayama.jp/page/276436.html>) 内、「中国・四国エリア充電スポットマップ」に掲載



1 三菱自動車のギャランフォルティスをベースにした「OVEC-ONE」 2 開発の陣頭指揮を執った吉田寛センター長 3 4輪を独立して制御できる薄型構造のインホイルモーター

現状

2年前倒しで目標達成

2013年3月時点でのEV導入台数は、1037台で、2年前倒しで目標を達成している。充電インフラは、目標の20カ所のうち17カ所に設置済み。急速充電器の県内設置数は、52基となっている。

目標

2015年度までに1000台

2011年3月に設定した短期目標では、EV・PHVは2015年度までに1000台を目指す。充電インフラについては、半径30km圏で県内全域をカバーできるように、県内の20カ所に急速充電器設置候補地を定め、整備を進める。

OVECでは次世代自動車の新技術を研究開発
広域的な充電スポット情報の提供をスタートさせ

中

兵庫をつなぐ高速道路の結節点にあたる岡山県では、広域的なEV移動をスマートにする目的で「中国・四国エリア等EV普及広域連携会議」を立ち上げ、2012年4月からドライブ情報サイトで急速充電スポットの情報を観光情報とともに提供。次の急速充電器までの距離や所要時間を知ることで、EVの走行可能な距離を考慮したドライブ計画を立てる一助となっている。

県内に三菱自動車水島製作所を有するという土地柄もあり、岡山県ではEV・PHV普及に向けた様々な取り組みが積極的に行われている。「おかやま次世代自動車技術研究開発センター（OVEC）」は、車のEV化による産業構造の変化に危機感を抱く県内の中小自動車部品メーカーを中心とした16社と、岡

山県工業技術センター、岡

県、岡山県産業振興財団が中心となって2011年4月にスタートしたプロジェクトの拠点だ。三菱自動車、S

M-Drive社がアドバイザーを務め、岡山理科大等の協力を得て「車から見た製品創り」という考え方に基づいて、モーターをはじめ次世代自動車に求められる新技術、新製品の研究開発を行う。

今後の展望

広域的な観光活性化へ

充電器設置によるランニングコスト負担を軽減するために課金制度の導入を検討する。同時に、EVを使った関西、中国、四国という広域的な観光を活性化させるために、急速充電器の整備と設置スポットの情報提供を推し進めていきたい。

利用者の視点

EV観光の活性化に期待

県内だけでなく周辺の自治体と連携した広域的な急速充電スポットの整備と情報提供の積極的な取り組みで、EV・PHVを利用した観光の活性化を支援。ガソリンスタンド(GS)の減少と高齢化が進む地域では、EV普及のポテンシャルの高さが感じられた。

2013年3月にはスペース効率がよくて軽量なインホールモーターを装着した試作EV「OVEC-ONE（オベック・ワン）」が完成。多方面で注目を集めている。